

～ 秋に挑む、秋に向かって一歩一歩進んでいく ～



《 10/3(木)には、校内研究授業(3年生)が行われました 》



第二中学校の校内研究の一環として、渡邊先生が3年生の数学「関数 $y=ax^2$ の利用」で研究授業を実施しました。渡邊先生は、この日の研究授業のために、丁寧に準備を積みあげてきました。本番の授業の中でも、生徒一人一人の様子や考え・思いを大切にしながら一生懸命に頑張っていていました。

そして、3年生一人一人も、「自分なりの考えをもつこと」「グループの中で自分の考えを説明すること」「他の人の考えを聞いて考えること」に前向きに取り組む姿を見せてくれました。

約5か月後には義務教育を終え中学校を巣立っていく3年生にとって、「自分なりの考えをもち、それを説明する」「他の人の考えを聞いて考える」ことは、これからの人生を切り拓いていくために絶対に必要な「生きていく力」になります。これからもしっかりと磨いていかなければなりません。

《 10/4(金)の朝、1年生が初めて第二中学生徒会の「あいさつ運動」に取り組みました 》



10月4日(金)の朝は、1年生が生徒会活動の「あいさつ運動」の当番でした。

1年生にとっては、第二中学校に入学してから初めての「あいさつ運動」の経験でした。中には、7時過ぎに登校して準備をしてくれた人もいたようです。

1年生のあいさつの声は、とてもはつらつとしていて、声をかけられた人にとっては、朝から元気がもらえるようでした。あいさつをするときの笑顔も、相手の気持ちを和ませてくれるようでした。

中学生の中には、いろいろな悩みや迷いが生まれる中学生の時期だけど、人に優しい気持ちはいつも持っているという伝統がしっかりと息づいています。中学生のあいさつには、人に優しい気持ちが宿るのだと思います。

これからもきっと、中学生らしい人に優しいあいさつが響き続けるに違いないと思います。

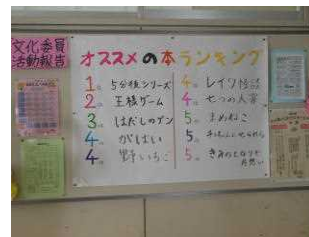
【みんなの物が大切にされる第二中学校】を目指しています！



「自転車置き場から昇降口まで使うみんなの傘」



「校内の様々な場所にあるみんなのための掲示物」



第二中学校は、「学校にある〈みんなの物〉〈みんなのための物〉はいつまでも大切に扱う」ということを、絶対にゆずれない目標として目指してきています。

自転車置き場に設置された「みんなの傘」も、校内の掲示物も、掃除道具などの様々な道具類も、自分も扱うけれど、自分以外の人でも扱う物です。そうした〈みんなの物〉を大切にすることは、それを使うみんな＝周りの仲間を大切にすることでもあるのです。

ここでもやはり、二中の伝統として息づく「人に対する優しい気持ち」が問われてくるのだと思います。